

平成 30 年 3 月 4 日(日) 晴れ

参加者：岡本(L)、佐々木、右田(記録)

7時に新大阪駅前を岡本車で出発。8時過ぎに駐車場到着。すでに10台ほど駐車している。結構人気があるようだ。早々に身支度し8時30分出発。川沿いの道を登って行く。20分程でヒミズ谷の小屋に到着。ここからまっすぐ林道を進めば綿向山表参道コース。右の斜面を登れば水無山北尾根コース。水無山北尾根コースの方には、危険看板あり。表参道コースは面白くなさそうなので北尾根コースを登ることにする。最初は、雪もなく、順調に高度を稼ぐ。途中からトラバース気味となり雪が着き始める。足元の悪い登山道を気を使いながら登って行く。1時間30分ほど登ったところで、雪の着いた谷筋を直登する。尾根に出て左手のピークに立つとそこは水無山990mのピークだった。



ヒミズ谷小屋



水無山手前斜面



水無山

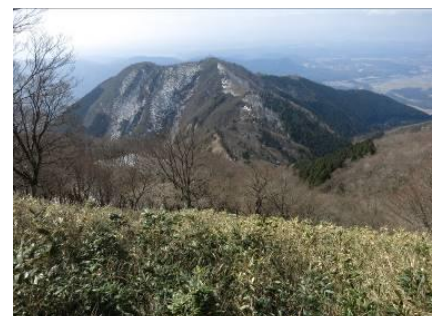
ここから尾根筋を下降し、綿向山を目指す。文三ハゲという荒地を通過し、踏み後のない斜面をトラバースし続けるとようやく表参道コースの登山道と合流。しかし、ここから先もトレースはなく、我々のみ。頂上直下の斜面を直登し、最後の階段を登り切ると、横木がコースを塞いでいる。反対側からみると通行禁止となっていた。結局、夏道は危ないので通行禁止になっており、皆、尾根沿いの冬季ルートに登ってきているようだ。頂上に11時30分到着。1110m。ちなみに11月10日は綿向山の日らしい。頂上は多くの登山者でにぎわっている。天気がよく春を思わせる気温に思わず、半袖に。正面には雨乞岳、鎌ヶ岳といった鈴鹿の山々が。1時間30分ほどまったりとする。



水無山から綿向山を望む



綿向山頂上直下



水無山を望む

下りは、当初竜王山周回コースの予定だったが、水無山で遊び過ぎたので、表参道冬季ルートを下る。アイゼンなしで歩きにくい。5合目あたりからは雪も消え、ジグザグの登山道をひたすら下る。14時40分に駐車場到着。竜王山には登ることはできなかったが、本日3人だけの変化のあるルートを楽しむことができた。



綿向山山頂



冬季ルートを下山



五合目小屋